

## ■ 前回の例会記録

第3388回 2023年7月11日(火)

### 【5大奉仕委員長就任挨拶】

- 職業奉仕委員長 川崎 建作 委員長
- 社会奉仕委員長 山田 剛 委員長
- 青少年奉仕委員長 寺原 一種 委員長
- 国際奉仕委員長 山田 俊介 委員長
- インターアクト委員長 中村 隆美 委員長

\* 誕生日祝・結婚記念日祝(親睦委員会)

### 出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く)	96名
例会出席会員数	55名
同上出席率	57.29%

## ■ 今回の例会予定

第3389回 2023年7月18日(火)

### 【夜間例会・懇親会】

第1回 夜間例会:宮崎観光ホテル  
18:30開始

## ■ 次回の例会予定

第3390回 2023年7月25日(火)

### 【ゲスト卓話】

宮崎大学発ベンチャー企業(株) Smolt  
代表取締役 上野 賢様  
「(株) Smoltのこれまでとこれから」

## ■ 幹事報告

先週の理事会での決議事項の報告  
・「クラブ運営方針」の年間行事予定表(案)一般会計予算(案)  
・ガバナーエレクト活動協力金として10,000円の会費の追加徴収の件

・池ノ上ガバナーの公式訪問がスタート。阿久根ロータリークラブ訪問(地区幹事佐藤会員と岩切会員ご同行。)

### 配布物

・週報no1、8月例会プログラム、定例親睦会の案内、ガバナー月信、ロータリーの友、請求書、会員証、出席情報報告、創立70周年記念誌ポステイングしております。

・クラブ協議会の件 本日18:30より  
・委員会報告書提出のお願い

## ■ ビジター会員



名誉会員  
宮崎RC第47代パスト会長  
定永 正明 会員

## 結婚記念日祝



## 誕生日祝



## ■ 会長の時間



岡本 俊則 会長

ご挨拶に先立ち本日ご参加の名誉会員のご紹介をさせていただきます。  
宮崎ロータリークラブ第47代 定永政明(さだながまさあき)パスト会長です。

皆様こんにちは九州北部では記録的な短時間の大雨で甚大な被害が出ているようです。

お亡くなりになられた方々には心からお悔やみを申し上げます。

### 第一回 会長卓話①

改めましてこんにちは、今日は私のロータリークラブ入会当時のお話とロータリーの基本理念についてのお話を少しさせて頂こうと思います。

この後、五大奉仕委員長の各就任挨拶があります。もしかしたら少し重複する部分があるかも知れませんがお許し頂きたいと存じます。

私の入会は2002年の3月、丁度我が宮崎ロータリークラブ創立50周年にあたる年でした。会長は先日お亡くなりになりましたが名誉会員であられた岩切達郎さん、幹事を川越宏樹さんがお勤めになられていました。

言うまでも無く50周年記念行事の為の要員としての入会でありました。

推薦者は佐藤嘉信さんです。入会後は、とにかく与えられた仕事を全力でこなす事だけ考えていたように思います。

当時は、私がクラブで一番年下だったこともあり地元先輩方は勿論、各支店長方からも思う存分こき使って頂いた記憶がありますが、それはそれで楽しい思い出の始まりであったと感じています。 去る5月末に東京市ヶ谷で川崎年度の東京OB会が行われました。そこに当時の先輩方が多数ご出席になられ、私の会長就任にあたっての励ましの言葉を沢山頂戴致しました。つくづく心温まる愛情を感じる場面でありました。(本当に居心地がいい・楽しい時間であったと思います。)

50周年ではステージ上でギターを弾かされたり、裏方で走り回ったりと本当に何をやってたのかほとんど覚えていない様な状況でしたが、楽しかった記憶だけはしっかりと心に残っています。

入会から既に20年が経ちロータリーの何たるかななどうでも良かった(ロータリーは親睦だ!楽しければいい!)私が、今、真剣にロータリーとは何かと考える時期に来ていることに気がつきました。

皆様におかれては既にご周知の内容にて釈迦に説法かとは存じますが、今一度この場で、一緒に“おさらい”をしロータリーに関する正しい知識を身につけ、ルールに乗っ取りながら“楽しく・居心地が良いクラブ作りを目指したい”と思いますので宜しくお願い致します。

各年度テーマの確認からです。

## 基本理念

まずは、ロータリーの目的であります。  
ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励(しょうれい)し、これを育むことにあります。

具体的には、どう言うことかと言うと次の各項を奨励(しょうれい)することにある

### “大きく四つの項目があります”

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

※例会、委員会、OB会、各同好会、各種大会、姉妹クラブ・友好クラブとの交流、積極的な参加により底辺を広げて頂きたい

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

※職業上の高い倫理基準を保ち自身の職業を他に誇れるようなものとする

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

※個人でも会社でも常に奉仕の精神を忘れないで実践すること

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

付記:「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならぬものである。





そしてロータリーの目的に基づく奉仕とは？

## 奉仕部門

ロータリーの目的に基づく奉仕部門は、ロータリーの精神的な礎(いしずえ)であり、クラブ活動がよりどころとする基盤です。

### 奉仕部門

私たちは、クラブ活動の土台となる5つの奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。

クラブ奉仕は、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。※我がクラブは先輩方のお陰を持ちこの部門は既にほぼ完成しているが、『持ち味を』知る学ぶ委員会の活動を通じて更に完成度を高めたい。

職業奉仕は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることです。

社会奉仕は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。※我がクラブの最たる活動は職業奉仕賞の選考と授与、ロータリーの山(ドンダリの森)、ギョボクの植樹(日南海岸が北限生域の蝶“ツマベニチョウ”の餌木)、ジャカランダの植樹、等

国際奉仕は、国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。※Pamodzi(パモジ・アフリカ、マラウイ)最貧、財団奨学生

青少年奉仕は、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

※ライラ、ローターアクト、インターアクト(青太・Pamodzi)、等の様々な活動支援活動内容については各委員長から詳しく話があると思いますのでご確認下さい。

※ロータリークラブにとって大切なことは、様々な機会に目を向けた奉仕活動の実践だろうと思います。我がクラブでは過去にも素晴らしい活動を多数実践しています。これらにも再度目を向け、無理のない範囲でもっともっと社会に貢献出来る団体を目指していければ良いと考えています。

あまり各論にとらわれず、出来るだけ総論的なものの方が出来れば良いと思います。

そして

## 四つのテスト(ロータリアンとして最も大切な考え方)

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

多様性とロータリー

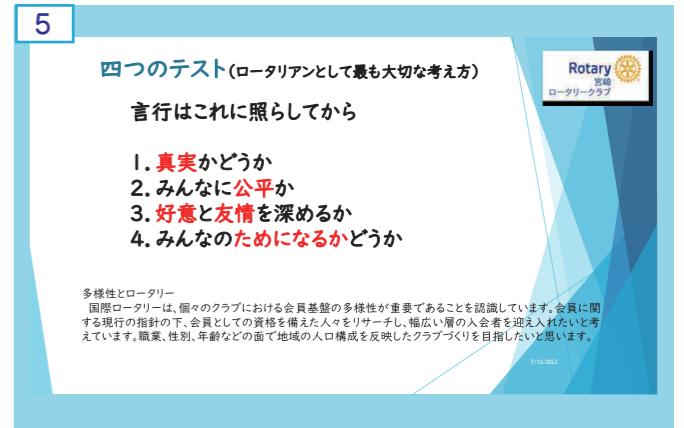
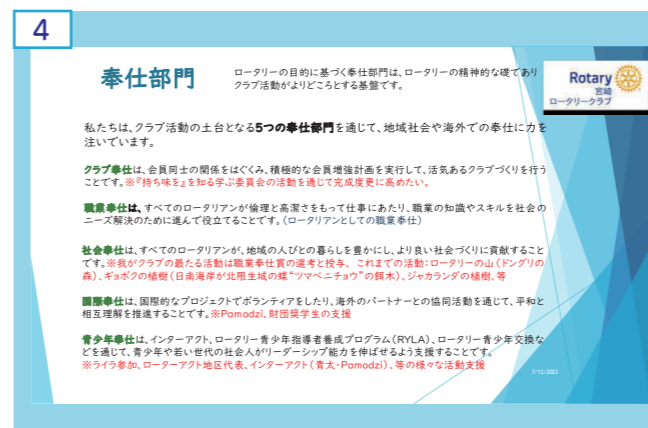
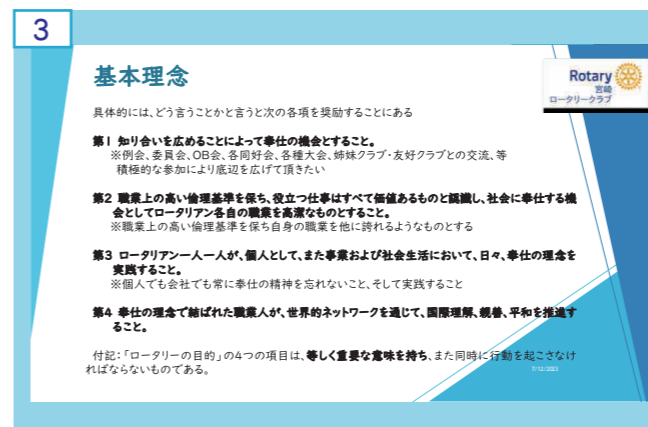
国際ロータリーは、個々のクラブにおける会員基盤の多様性が重要であることを認識しています。宮崎ロータリークラブは会員に関する現行の指針の下、会員としての資格を備えた人々をリザーチし幅広い層の入会者を迎え入れたいと考えます。職業、性別、年齢などの面で地域の人口構成を反映したクラブ作りを目指したいと思えます。

新会員に関する情報等がありましたらどしどしと菌田幹事もしくは担当吉田委員長までご一報ください。と、基本理念の“おさらい”こんな感じです。私のロータリーライフの続きは次週以降にどんどんと繋がって参りますのでお耳汚しとは思いますがお付き合いください。

最後に近況です。  
61歳になりました。気持ちは入会当時と何も変わっていませんが、実際には右を向いても左を見ても「あいたた、あいたた、よいしょ、よいしょ、」の毎日であります。

今般、会長就任の証として今週末の会長杯ゴルフコンペより8年振りにゴルフ復活を果たそうとかなと思っております。今のところは本番前に一回くらいは練習場に足を運び、軽く数十球を打ち込んで望むつもりでおりますが、おそらく挫折して本番当日を迎えるような気がしています。皆様16日はくれぐれも暖かい心を持って私に接して下さい。どうか宜しくお願い致します。

ご静聴ありがとうございました。



## 職業奉仕委員長就任挨拶



川崎 建作 委員長

皆さんこんにちは。職業奉仕委員長の川崎です。直前会長の役割として、今年度は職業奉仕委員長を務めさせていただくことになりました。

他のクラブでは会長が終わった翌年度はお役目なし、というところが多い中であって、慣習とはいえわがクラブではなかなか休ませていただけない感じです。職業奉仕委員会の役割という、年間の行事とすれば2つ挙げられます。

まずは、職場訪問例会です。ロータリー自身の企業経営にも何らかの参考になる職場、あるいは未知の職場を見学して新たな見識を得ることができた、というように、何か得るものがある職場を選ぶようになっております。コロナ禍においては、一つの職場に大勢の会員が押し掛けることになるので2回の職場訪問例会中止がありました。ようやく昨年度の職場訪問例会は今年の4月11日に宮崎県の防災庁舎で無事に行うことができました。今年度の職場訪問例会も日程だけは決まっております。来年4月9日予定で、場所によってはバスを準備したり、昼食の弁当の手配などもあります。必ずしも会員の関係する企業や施設にこだわることなく、基本的には目的地はどこでもよいこととなります。ただ例会時間である12時半から1時半を大きく変えることはできません。従って移動にあまり時間をかけることができないのが難しいところではあります。

職業奉仕委員会のもう1つの行事は「職業奉仕賞贈呈式」です。これは、宮崎ロータリークラブの初代会長でありました岩切章太郎さんたちが、クラブ創立10周年を記念して創設された宮崎ロータリークラブにとって大変重要な意味を持つプロジェクトです。昨年、60回目の贈呈式が宮崎ロータリークラブ創立70周年記念式典の中で





執り行われ、その模様はテレビのニュースや新聞にも取り上げられ、受賞者である青島グランドホテルの大女将、富森久子様はもちろん、彼女にスポットを当てた宮崎ロータリーそのものも高い評価を得ることとなりました。

「この道一筋」という生き方は日本人の美德の一つでありましたので過去60回の受賞者はいずれもそういった方々を対象として宮崎県内から選ばれておりました。しかしながら、職業奉仕委員長を仰せつかりまして、考えさせられることが出てまいりました。それは「この道一筋」という生き方に対する捉え方です。今の世の中では、そういった生き方をする人達がだんだん少なくなってきた、もしくは少なくなっていくような気がいたします。終身雇用制がぐらつき始め、転職、ヘッドハンティングといった世相が一般化していく中で、「この道一筋」という受賞者の選定を私たちも少し見直さなければならぬのかもしれない。

これからの1年間、長友あい副委員長、内村彰会員ともどもよろしく願いいたします。ご清聴ありがとうございます。

## ■ 社会奉仕委員長就任挨拶



山田 剛 委員長

今年度、社会奉仕委員長を仰せつかりました山田剛でございます。

昨年度は朽木さんが委員長で私が副委員長だったのですが、今年度は逆転しまして私が委員長を、

そして朽木さんが副委員長を担当いたします。つまり同じコンビで2年間活動することになりますので、効率よく、また継続性をもって事業を進めて参りたいと思います。

今年度に計画している事業は二つです。

「植樹」と「海岸河川美化清掃活動」です。

まず「植樹」ですが、昨年は70周年記念事業の一環として、3月4日に宮交ボτανニックガーデンにジャカランダの木を5本植樹いたしました。

今年の計画はまだ確定しておりませんが、やはりジャカランダの木を植えようという案が有力です。植樹する場所につきましては、池ノ上ガバナリーが特別参与を務めておられる宮崎市医師会病院を第一候補として検討を進めています。

最近では植樹する場所につきましても様々な制限や規制があり、植樹場所を探すのも一苦労です。

そういった中で、市郡医師会病院からは歓迎のご意向をいただいております。ぜひ積極的に計画を進めたいと思っています。ジャカランダの花が、患者さんの心の慰めになればと思っています。

植樹は冬に行うのが良いと聞いていますので、1月～3

月の間で日程を設定いたします。次に「海岸河川美化清掃活動」です。

昨年度は、5月21日に2730地区主宰で行われましたが、当クラブは一つ葉海岸付近を担当いたしました。今年度につきましては、まだ具体的な計画は確定していませんが、2024年3月～5月で実施する予定とのことです。

「植樹」にしましても「海岸河川美化清掃活動」にしましても、我々宮崎クラブだけではなく、ローターアクトやインターアクト、さらには一般の方々にもご協力をいただき、社会奉仕活動の幅を広げて参りたいと存じます。

また、クラブ広報委員会とも連携し、マスメディアを通じて我々の活動状況が世間一般に周知されるよう図って参ります。

いずれの事業につきましても、計画が具体化しましたら改めてアナウンスさせていただきます。皆さまの積極的なご協力をよろしく願い申し上げます。

## ■ 青少年奉仕委員長就任挨拶



寺原 一種 委員長

皆さんこんにちは。

私はこの度青少年奉仕委員長をさせていただきます寺原です。当委員会の今年度の活動につきまして説明させていただきます。

私たちの委員会は、次世代のリーダーを育てるべく、地域の青少年たちに対して、教育や健全な生活、自己啓発の機会を提供することを目指していきます。

そして青少年の将来を明るくするために、様々なイベントやプログラムの企画やアドバイスしていきます。

具体的な活動として現在予定されているものはローターアクト 現在14名 9月「ローターアクトの日」の清掃活動、3月年次大会、4月収益事業インターアクト30名、12月青島太平洋マラソン3km部門ボランティア参加、ライラ4月6名参加予定、8月年次大会、ポリオ撲滅募金活動、BBQ大会等を予定。

目標は青少年たちが健全な成長と発展を遂げることです。彼らの才能や可能性を最大限に引き出すために私たちの委員会が積極的に関与し、サポートしていきます。今後皆様からのご意見やアイデアをお聞きしながら、よりよい活動を実現していきたいと思っています。皆様のご協力をお願いいたします。

最後に、私自身も一年間様々な経験を活かし全力で委員会活動に取り組んでいくことをお約束します。一年間どうぞよろしくお願いいたします。



## ■ 国際奉仕委員長就任挨拶



山田 俊介 委員長

本年度国際奉仕委員会の委員長を仰せつかりました山田俊介です。副委員長の安藤公一会員と昨年の委員長の鳥山純代会員と3人で1年間活動してまいります。

国際奉仕という漠然としていて他の四大奉仕と比べて具体的には何をすればよいのか迷うところではありますが、ロータリーにおける国際奉仕は国際間の理解、親善、平和を推進するために会員が行う全ての活動を意味しますとありますので、テレビのニュースで今の国際情勢を知ることも旅行ガイドブックなどでいろいろな国の文化や慣習、風俗などを知ること、国際奉仕の一つだといえると思います。

親善に関しましては身近なところで米山奨学生と積極的に係わりを持ち彼らのサポートに力を入れたいと思っております。

ロータリーの国際奉仕のなかでも平和の推進は絶対必要不可欠なものだと思います。世界に目を向けるとロシアとウクライナの戦争やイスラエルとパレスチナの紛争などがあります。平和な日本に暮らしていると、現実味の無い人ごとのように思ってしまうのは私だけではないと思います。お恥ずかしい話ですが、2014年にロシアがウクライナのクリミア半島を併合した時には、私はロシアとウクライナの違いも知らず旧ソ連として一括りにしていました。今回の戦争で両国の歴史的背景や周辺諸国の状況を知ることが出来ました。

今年度は私自身世界の事にもっと目を向けているいろいろな事を知ることで国際奉仕への第一歩を踏み出したいと思えます。国際奉仕委員会へのご理解ご協力を宜しく願います。

## ■ インターアクト委員長就任挨拶



中村 隆美 委員長

インターアクト生がどのような活動をしているのか伊東先生に伺ったとき衝撃が走ったのを覚えています。内容は、アフリカで最貧国であるマラウイ共和国の人達に何かできる事をと、生徒自ら考え「パモジ」という取り組みを行っているという内容でした。

「パモジ」とはマラウイの言葉で「共に」という意味だそうです。何をすべきか考えているときに、アフリカには、その国その国の産業として特徴的なデザインの通称アフリカ布と呼ばれている

布があるらしく、マラウイでも生産されていることに着目して、この布を購入することから事業がスタートしました。このアフリカ布でバッグを作り、益金でまた布を買うこのようなサイクルから始まりましたが、布の調達に関するやり取りや、バッグ生産をどこに依頼し、どのように販売するのか、仕入 生産 販売までを全て生徒たちで決めて行っているという聞き、再度驚かされたところでありました。現在は現地でバッグ生産を依頼しバッグを輸入する形態へ変わってきたとの事でした。そして近い将来にはバッグ生産のための足踏みミシンを事業所へ寄贈出来たらと考えているそうです。インターアクト生の本気な取組にぜひご期待頂ければと思います。

それから、今年の委員会活動の目玉として「青島太平洋マラソン 3Km」事業を行う事となりました。事業内容ですが、参加していただいた中学生と高校生を対象に「トリムマラソン」といって、あらかじめ自分がゴールするであろうタイムを申告していただき、ゴールした時のタイムがいかに事前申請したタイムに近いかを競うレースになります。ですので早い遅い関係なく誰でも優勝することが可能なレースという事になります。

この事業を行うにあたり、実は第2730地区の補助金を昨年度申請し、補助金の内定を頂いております。池ノ上ガバナリーを盛り上げるいい機会になろうかと思っておりますし、地区や宮崎ロータリーを一般の方々に周知していただける企画であると考えております。またインターアクト活動ができるのは中学生 高校生となっておりますので、将来のインターアクト生候補への広報にもなるかと考えて企画させていただきました。時期が来ましたらご案内申し上げますので、当日沢山の方に現地へ来ていただき盛り上げてもらえればと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。



## 池ノ上ガバナリー 公式訪問

(今週の予定)

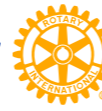
7/ 18(火) 川内、串木野

19(水) 薩摩川内、大口

20(木) 出水

●松崎裕介 会員、長友剛 会員同行

Rotary  
第2730地区



宮崎ロータリークラブ

### 本年度(2023~2024)宮崎ロータリークラブの目標

- ①国際ロータリー第2730地区 地区大会をホストクラブとして開催
- ②池ノ上ガバナリーの活動支援
- ③青島太平洋マラソン3キロの部 復活開催
- ④会員数100名以上の堅持と女性会員の増強
- ⑤例会出席率90%以上の確保
- ⑥ロータリー財団寄付一人あたり100ドル以上
- ⑦米山奨学会寄付一人あたり10,000円以上

<会 長> 岡本 俊則  
<副 会 長> 藺田 潤子  
<幹 事> 藺田 有美  
<会報委員会> 福松 修一郎

■例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)  
■例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)



日本の  
ひなた  
宮崎県

■事務局 宮崎市宮田町13番8号(田崎ビル) TEL:24-4872 FAX:22-0288  
URL:https://miyazaki-rc2730.jp E-mail:m-rotary@miyazaki-rc2730.jp